

「令和2年7月豪雨災害」状況報告（9月17日（金）現在）

認定 NPO 法人 全国災害ボランティア支援団体ネットワーク

## 1. 家屋の被害状況（参照元：総務省消防庁 9月3日 14:00 発表）

URL：[https://www.fdma.go.jp/disaster/info/items/200903\\_oame50.pdf](https://www.fdma.go.jp/disaster/info/items/200903_oame50.pdf)

熊本県	住家被害：全半壊 4,200 棟以上 一部破損 1,200 棟以上 床上浸水 2,000 棟以上
大分県	住家被害：全半壊 200 棟以上 一部破損 300 棟以上 床上浸水 200 棟以上
福岡県	住家被害：全半壊 1,200 棟以上 一部破損 1,100 棟以上 床上浸水 400 棟以上

## 2. 支援状況

### ■ 熊本県

#### < 情報共有会議の開催 >

・「くまもと災害ボランティア団体ネットワーク（KVOAD）」により、現在、毎週火・木 18 時より「火の国会議」水害版として開催。

（「火の国会議」議事録は、右記 KVOAD web サイトより閲覧可能

<https://www.kvoad.com/> ※熊本地震版の同時開催もあり）

・被害の大きかった人吉市においては、市町の情報共有の場として「人吉球磨村連携会議」を開催されていたが、より議論を深めるため、地区ごとに調整できるよう、人吉と球磨村の2つに分けて実施されることとなった。球磨村については、「球磨村ボランティアミーティング（仮称）」が9月12日、16日に開催され、球磨村社協と支援組織等が集まり、今後の家屋の泥出し、家財出しについて話し合われた。

人吉については、現在調整中。来週以降に関係者が集まる予定。



「球磨村ボランティアミーティング（仮称）」の様子 9/12



KVOAD による「ひまわり亭」へのヒアリング

#### < 避難所運営 >

##### ● 支援団体の取り組み

避難所運営の知見を持つ支援団体が、一部の避難所において、運営サポートを開始。避難された方がたの環境改善に取り組んでいる。以下のサイトにて、現地の様子をご覧いただける。

避難生活を少しでも快適に <https://pbv.or.jp/blog/project/?p=25522>

避難生活を少しでも快適にパート2 <https://pbv.or.jp/blog/?p=25610>

\*ピースポット災害支援センターHP より

#### < 仮設住宅への入居 >

##### ● 家電等備品について

・建設型仮設に併設される「みんなの家」など、集会場、談話室が 19 か所出来る予定。市町村において用意できる家電等備品に対し、その他必要な備品を洗い出し、支援団体間内で調整している。また、県と企業が AED 設置支援について協議中。

#### < 在宅避難者 >

##### ● 調査について

・支援団体により、12 日に人吉宝来地区の在宅避難者への訪問活動を実施。また、13 日には人吉市阪本で弁護士や医療関係者と共に相談会を実施。10 組以上の相談を受け、中には生活相談もあった。

公費解体が進むにつれ、解体か修繕して住み続けるか、住民の方々は選択を迫られることになる。判断に迷う中、住民の方の気持ちに寄り添いながら、専門的な修繕、アドバイスが出来る、技術的な支援が現地において必要となってきた。